

キンブル弥富店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

届出概要

既存店(965.16㎡)の隣の倉庫を店舗に改装し、駐車台数も増加する。(法第5条第1項)

1 届出事項

1	届出年月日	平成17年9月30日	
2	店舗名称	キンブル弥富店	
	店舗所在地	海部郡十四山村鍋平1-35ほか1筆	
3	新設する日	平成18年5月31日	
4	届出事項	概要	
(1)	設置者	名称	株式会社キンブル
		代表者	代表取締役 櫛木 博治
		住所	名古屋市西区新道1-4-3
		備考	なし
	小売業者	名称	株式会社キンブル
		代表者	代表取締役 櫛木 博治
		住所	名古屋市西区新道1-4-3
		備考	なし
(2)	店舗面積	1,855 ㎡	
(3)	駐車	位置	別紙図面のとおり
		台数	178 台
	駐輪	位置	別紙図面のとおり
		台数	24 台
	荷捌	位置	別紙図面のとおり
		面積	204.0 ㎡
	廃棄	位置	別紙図面のとおり
		容量	43.5 ㎡
(4)	営業	開店時間	午前10時
		閉店時間	午後9時45分
	駐車場利用時間帯		午前9時30分から午後10時まで
	駐車場	出入口数	6箇所
		出入口位置	別紙図面のとおり
	荷捌時間帯		午前6時から午後9時30分まで
業態	住・生活関連品専門店		
用途地域	市街化調整区域		
参考	平成4年11月開店		

I 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項	評価
(1) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため不要	
(2) 責任者の任命	店長を責任者として任命	
(3) 予測乖離時の措置	対策を検討の上、必要措置を実施	
(4) 通年の臨時措置	繁忙時は交通整理員を配置	
(5) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置	

キンブル弥富店

II 施設の配置及び運営方法関連事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

① 駐車場の必要台数の確保

ア 指針による算出

店舗面積	日來客数原単位	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車時間 係数	指針必要台数
1,855 m ²	1044.35	15.70%		75.00%	2.00 人	0.67	76 台

総駐車場台数	従業員等駐車場台数	付帯施設駐車場台数	来客用駐車場台数	評価
208 台	30台	0台	178 台	

② 駐車場の位置及び構造等

1 平面自走オペレーター無	2 平面自走オペレーター有	3 機械式駐車場	4 共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
6箇所	0箇所	0箇所	0箇所	114 台

ア 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

敷地内 駐車場	種別	1	収容台数	71 台	歩行者動線	分離	騒音配慮	なし	排ガス配慮	なし	判定
	出入口数	道路種別	道路幅員	予測来台車	交差点距離	住宅前出入口	左折入庫	左折出庫	駐車待スペース		
東	1箇所	市町村道	7.6m	50	37m	0箇所	双方向	双方向	0m		
西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	2箇所	国道	18m	57	13m	0箇所	双方向	双方向	0m		
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
警備員の配置		1年を通して混雑する時期のみ配備									

第2 駐車場	種別	1	収容台数	90 台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	なし	排ガス配慮	なし	判定
	出入口数	道路種別	道路幅員	予測来台車	交差点距離	住宅前出入口	左折入庫	左折出庫	駐車待スペース		
東	2箇所	市町村道	7.6m	95	60m	0箇所	双方向	双方向	0m		
西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
警備員の配置		1年を通して混雑する時期のみ配備									

第3 駐車場	種別	1	収容台数	17 台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	なし	排ガス配慮	なし	判定
	出入口数	道路種別	道路幅員	予測来台車	交差点距離	住宅前出入口	左折入庫	左折出庫	駐車待スペース		
東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
西	1箇所	市町村道	7.6m	21	25m	0箇所	双方向	双方向	0m		
南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
警備員の配置		1年を通して混雑する時期のみ配備									

評価	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理

③ 駐輪場の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	A棟南側1箇所
駐輪場の収容台数	24 台
標準収容台数	49 台
算出根拠	現況店舗の最大駐輪台数12台から、現況店舗面積(965.16m ²)と将来店舗面積(1,854.96m ²)の比率に現況の駐輪台数を乗じて算出した 12台 × (1,854.96m ² ÷ 965.16m ²) = 24台

位置評価	台数評価

キンブル弥富店

④ 荷捌施設の整備等

ア 荷捌施設の整備

A棟	停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
	敷地内	混在	103.2㎡	なし	13分	1台	2台	

B棟	停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
	敷地内	混在	100.8㎡	なし	10分	1台	1台	

イ 計画的な搬入

A棟	搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
	9・11・12・14・16時台	2台	18:00～19:00	13:00～14:00	単独テナント	必要なし	

B棟	搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
	10・11・12・15・16・17時台	1台	15:00～16:00	9:00～10:00	単独テナント	必要なし	

⑤ 経路の設定等

(1) 車両関係

ア 来客車関係

案内表示	案内員の配置	生活道路の回避	通学路の回避	右折経路	右折用車線	右折入庫
有	配置なし	非回避	非回避	有り	有り	有り

イ 搬出入車両関係

通学路の有無	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
有り	有り	非配備

ウ 公共交通機関関係

駐車場の確保
なし

エ 市町村事業関係

パークアンドライド事業への協力
なし

評価

(2) 歩行者通行関係

通抜可能通路の保持	通行妨害施設	夜間照明の設置
なし	無し	あり

評価

(3) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価

(4) 防災対策への協力

非難場所の提供	物資の緊急提供
締結可能	締結可能

評価

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

① 騒音問題対応策

ア 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	50 m	無	室外機	無	有	-
西方向	無し	無	室外機	無	無	-
南方向	無し	無	室外機	無	有	-
北方向	無し	無	室外機	無	無	-

遮音壁の悪影響	遮音壁設置なし

評価

キンブル弥富店

イ 荷捌・営業活動の騒音対策

荷捌施設建築計画面での配慮	荷さばきスペースを十分に確保
荷捌施設運営面での配慮	アイドリングストップ、作業員の意識を向上させます
荷捌施設機器選択面での配慮	運搬機器の整備、作業員の意識向上
放送設備使用面での配慮	業務連絡のみの使用とし、極力音量を下げ周辺に影響のないようにします

ウ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機からの騒音	低騒音型を用います
給排気口からの騒音配慮	低騒音型を用います
駐車場からの騒音配慮	場内でのアイドリングストップの促進
廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業を回避します

② 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	冷却塔	空調室外機	23	給排気口	38	キュービクル	1	浄化槽	ポンプ	エンジン等	
		冷凍室外機	冷凍機械室									
	変動騒音	ゴミ収集作業	○	BGM		アナウンス	○					
		自動車走行	○	荷捌アイドリング		後進警報ブザー	○	台車走行	○			
	衝撃騒音	荷降し音		台車走行								
建物の構造(高さ)		A棟 鉄骨造2階建(高さ9.75m)、B棟 鉄骨造2階建(高さ11.3m)										

ア 等価騒音レベル予測

		A(1.2m)	B(1.2m)	C(1.2m)	D(1.2m)
用途地域		市街化調整区域	市街化調整区域	市街化調整区域	市街化調整区域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	47.3 dB	51.0 dB	42.7 dB	50.2 dB
	評価	○	○	○	○
	夜間等価騒音レベル	-12.8 dB	-10.1 dB	-6.9 dB	-10.7 dB
	評価	○	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当

イ 夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所図書館、特別養護老人ホームの有無					無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容					無し
		a(4.7m)	b(4.7m)	c(4.7m)	d(4.7m)
用途地域		市街化調整区域	市街化調整区域	市街化調整区域	市街化調整区域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし
基準値		50dB	50dB	50dB	50dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	-12.3dB	-8.5dB	-5.8dB	-9dB
	評価	○	○	○	○
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	-	-	-	-

キンブル弥富店

(2) 廃棄物関係

悪臭問題関係配慮	適正に処理する
衛生問題関係配慮	店舗から排出される廃棄物は分別を徹底する

	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	11.1 m ³	1日	0.46 t	0.10 t/m ³	4.64 m ³	変更なし	
空缶・空き瓶	7.2 m ³	2日	0.07 t	0.10 t/m ³	1.37 m ³	変更なし	
厨芥・その他	25.2 m ³	15日	0.18 t	0.15 t/m ³	18.18 m ³	変更なし	
合計	43.5 m ³	-	-	-	24.19 m ³	-	
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	無	空缶・空き瓶の回収箱設置	無
生ゴミ堆肥化施設の使用	無	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	無
廃棄物等圧縮機の使用	無	食品加工場の設置	無
脱水装置の使用	無	物販店以外の施設との保管施設の共有	有

位置・構造	適正な分別の実施		分別廃棄を実施します	
	搬出作業の利便性の確保		特になし	
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保		早朝・夜間の作業は控えます	
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	無		
	生ゴミ保管施設の気密性の確保	有		

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	特になし
運搬(予定)業者(免許番号)	東海装備(15弥衛第13号)、サトマサ(株)(2120010172) 河村商事(02310072066号)
敷地内処理の配慮	すべて敷地外で処理します
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	無し
食品加工場併設の場合の運営上の配慮	特になし

評価

(3) 街づくり等への配慮

風致地区	無	美観地区	無	建築協定	無	景観条例	無
具体的対応策	駐車場内及び敷地境界上に緑地を確保します						
街並みづくりへの協力	今後具体的な計画の協力要請があれば配慮いたします						
照明等の配慮	敷地内を照らすように配灯計画し、敷地外への光の漏れが最小限になるように配慮						

評価

市町村の意見概要	対応
意見なし	—

住民等の意見の概要	対応
意見なし	—

県の意見案
意見なし